

お知らせ

平成28年11月9日

情報提供先：島根県政記者会、
出雲市政記者クラブ

神戸川の河川環境改善効果の確認を行います。 ～11月17日志津見ダムからフラッシュ放流を実施～

志津見ダムでは、神戸川の河川環境改善を目的としたフラッシュ放流を行いますので、お知らせいたします。

フラッシュ放流は、ダムからの放流量を一時的に増加させ、人工の小規模洪水を起こすものです。

これによる河床の石に付着している藻類の剥離や河床堆積物（落ち葉など）の掃流により、生物の多様な生息・生育環境の保全、復元や水質環境の改善を期待するものです。

フラッシュ放流は、平成25年より毎年実施しており、今年で4回目となります。

1. 調査内容

過去の調査において志津見ダムからのフラッシュ放流によって、石の間に挟まっている落ち葉や枝といった堆積物を掃流するとともに、場所によって河床付着物の剥離など神戸川の河川環境改善効果が確認されています。

今回の調査は、過去の調査結果を基に、フラッシュ放流前後の河床付着物量の変化、落ち葉等の掃流状況を再度確認します。

2. 実施予定日

フラッシュ放流実施予定 平成28年11月17日(木) 8時30分頃～

直前の気象等により、延期する場合があります。その際は、

Webサイト(出雲河川事務所 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen>)でお知らせします。

<問い合わせ先>

国土交通省 出雲河川事務所 0853-21-1850 (代表)

【担当】 副所長 竹田 幸詞 (たけだ こうじ)

管理第二課長 浜田 健一 (はまだ けんいち)

0853-20-1754

志津見ダム管理支所 支所長 村上 友章 (むらかみ ともあき)

「くにびきくん」 (飯南町角井1891-20) 0854-73-0222

志津見ダムキャラクター



平成 28 年 11 月

お知らせ

志津見ダム管理支所からの お知らせ 『志津見ダムにおいてフラッシュ放流を実施します。』

実施予定日

平成 28 年 11 月 17 日 (木) 8 時 30 分頃～

(直前の天候等により、放流を中止する場合があります。)

普段より神戸川の水位が上昇しますので注意してください。

注意して欲しいこと

フラッシュ放流により、下流の河川では普段より水位が上昇します。また、川の幅が狭くなる場所、川の傾斜の急な場所では、他の場所より水位が高くなったり、流れが速くなる場合があります。

予想される水位上昇量と時間は裏面のとおりです。

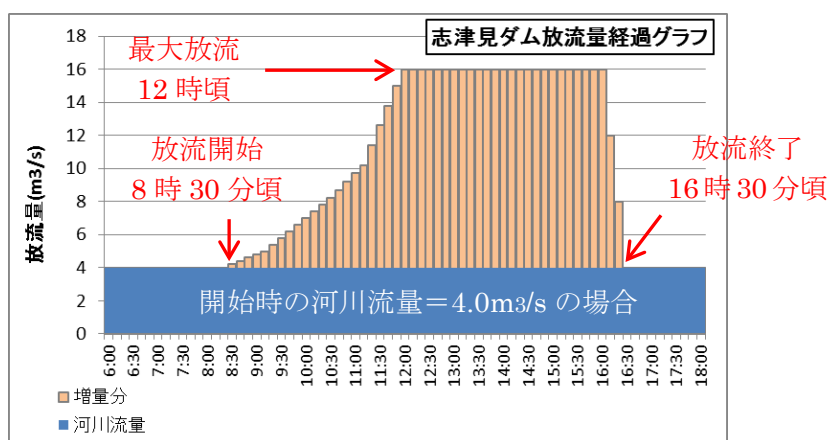
そもそも、「フラッシュ放流」とは

一般的にダムで大きな洪水を調節をするようになると、出水時にダム下流の水量が増減する頻度が少なくなり、川底などに細かな砂や、草や枝などの有機物の堆積が進むことがあります。

フラッシュ放流は、一時的にダムからの放流量を増やし、人工の小規模洪水を起こして、河床の石などに付着した泥等を取り除いたり、生物の生育環境の保全や水環境の改善を期待するものです。

(今までに行った志津見ダムのフラッシュ放流)

1回目：平成25年 4月17日 2回目：平成26年 4月15日 3回目：平成27年11月17日



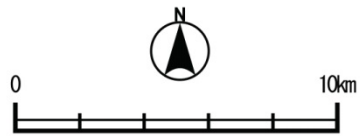
* なお、11月の志津見ダムの貯水量や河川の流況により放流時間を変更する可能性があります。

<問い合わせ先> 国土交通省 中国地方整備局出雲河川事務所

志津見ダム管理支所 Tel 0854-73-0222/Fax 0854-73-0036



注：水位上昇と到達時間は予測値であり、実際には誤差が生じます。目安としてご理解ください



フラッシュ放流時の水位上昇・到達時間 (予測値)